

答 申 書

平成29年1月11日

京都市長 門川 大作 様

京都市環境影響評価審査会
会長 笠原 三紀夫



平成28年10月21日付け環環管第16号をもって諮問のありました「(仮称)株式会社大森エコサイクル一般廃棄物処理施設の設置事業に係る配慮書案について」、慎重に検討を行った結果、下記のとおり答申します。

記

1 全般的事項

当該施設からの排水の「水質」について、影響を受けるおそれのある環境要素に追加すること。

2 大気質

破砕機の排ガスが破砕処理棟内に充満する可能性があるため、換気方法を検討し、適切に対応すること。

3 騒音・振動

空気圧縮機の稼働により、騒音及び振動が発生するが、夜間の稼働に当たっては、更なる配慮を検討し、適切に対応すること。

4 悪臭

堆肥化施設からの悪臭の影響が懸念されるため、必要に応じ、適切に対応すること。

5 水質

河川に排水を放流するに当たっては、水質基準に適合するよう、適切に対応すること。

6 廃棄物

剪定枝葉に混入した異物など、配慮書案に記載されている以外の廃棄物も発生することが想定されるため、それらの一時保管場所及び処理方法について検討し、適切に対応すること。